

第1外科学総論

【General Surgery】

担当責任者 教授（第1外科学） 平田 敬治

ねらい

外傷や手術等の侵襲に際し、惹起されうる事態についての知識を習得する。さらに手術基本手技・輸液輸血・術前術後管理などの外科的治療法について基本的な知識・態度・技術について習得する。

学修目標

1. 医学全般および患者との係わりにおける外科を理解し、説明できる。（Ⅰ-1,Ⅰ-4,Ⅰ-5）
2. 外科的侵襲と生体反応を説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅱ-5,Ⅱ-7,Ⅱ-10）
3. 創傷・外傷とその治療機序について説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅱ-5,Ⅱ-7,Ⅱ-10）
4. 外科感染症と治療について述べるができる。（Ⅱ-1,Ⅱ-5,Ⅱ-7,Ⅱ-10）
5. 輸液および栄養補給法の意義と実際について説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅱ-5,Ⅱ-6,Ⅱ-7）
6. 出血、止血、血液凝固、輸血の機序と実際について説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅱ-5,Ⅱ-6,Ⅱ-7,Ⅱ-10）
7. 消毒・滅菌・手術基本手技について説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅱ-5,Ⅱ-6,Ⅱ-7,Ⅱ-9,Ⅱ-10）
8. 術前、術中、術後の管理と合併症について説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅱ-4,Ⅱ-5,Ⅱ-6,Ⅱ-7,Ⅱ-9,Ⅱ-10）
9. 腫瘍の発生と進展の分子機序を理解し、説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-2,Ⅱ-3,Ⅱ-4,Ⅱ-5,Ⅱ-6,Ⅱ-7,Ⅱ-9,Ⅱ-10,Ⅱ-11,V-2）
10. 臓器移植および人工臓器の理論と実践について説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅱ-4,Ⅱ-5,Ⅱ-6,Ⅱ-7,Ⅱ-10,Ⅱ-11,V-2）

事前事後学習の方法

1. シラバスの記載項目について、事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義のテキスト、スライド内容とともに講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 講義後小テスト、出席状況を加味して、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A/B/C/D/Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

北野 正剛 監修 「標準外科学」第15版 2019年 医学書院

○ 参 考 書

Townsent CM, et al Sabiston 「Textbook of Surgery」第19版 2012年 Saunders

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 （ 内 容 ）	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.27	月	7・8	外科学の総論(講義中に小テスト)	CS	02	04	20	平田 敬治
11.10	月	7・8	水・電解質と外科患者管理・輸液(講義中に小テスト)	CS	02	04	26	田上 貴之
11.14	金	7・8	腹部－基本外科処置/術前術後管理/外科合併症(講義中に小テスト)	CS	02	04	20	柴尾 和徳
11.19	水	7・8	創傷治癒・熱傷(講義中に小テスト)	PS	03	05	13	森 泰寿
11.28	金	7・8	救急外科(講義中に小テスト)	CS	03	03	03	伊藤 重彦(学外)
12.5	金	7・8	腹壁・腹膜(講義中に小テスト)	PS	02	08	01-05	佐藤 永洋
12.8	月	7・8	輸血・止血障害(講義中に小テスト)	CS	02	04	38-40	永田 淳
12.15	月	7・8	外科的感染症・感染対策(講義中に小テスト)	PS	03	03	07	勝木 健文(学外)